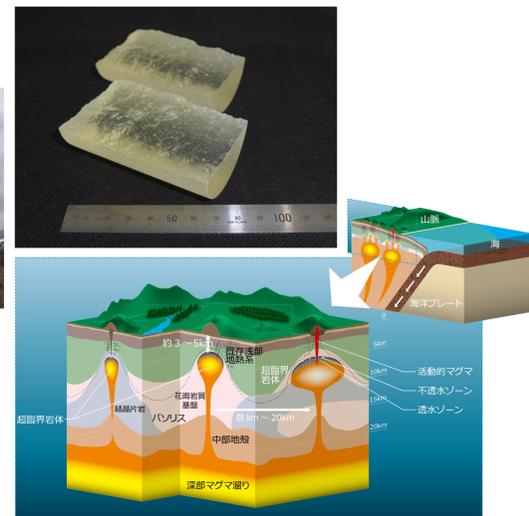


海洋プレートの沈み込みに起因して発生した高温(400~500℃)の超臨界地熱資源は2050年以降のクリーンエネルギーとして期待されています。本セッションではNEDO超臨界地熱発電技術研究開発の概要とこれまでの成果について報告いたします。この機会をどうぞお見逃しなく!



RENEWABLE ENERGY 2019
第14回 再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム



◆お申し込みは、こちら (申込制・定員制・入場無料)

<https://www.aist.go.jp/fukushima/ja/news/itemid2057-004889.html>

福島再生可能エネルギー研究所

検索



【お問合せ】産総研 福島再生可能エネルギー研究所 産学官連携推進室
AIST-FREAセッション事務局 TEL:024-963-0813 frea-re-apply-ml@aist.go.jp

※プログラムは予告なく変更、または中止となる場合がありますので、ご了承願います。

13:00~13:10	開会の挨拶	中岩 勝	福島再生可能エネルギー研究所 所長
13:10~13:30	超臨界地熱研究開発の意義と現状	浅沼 宏	再生可能エネルギー研究センター 地熱チーム 研究チーム長
13:30~13:50	我が国の超臨界地熱システム	鈴木 陽大	再生可能エネルギー研究センター 地熱チーム 研究員
13:50~14:10	世界の超臨界地熱システムの概要	岡本 京祐	再生可能エネルギー研究センター 地熱チーム 研究員
14:10~14:30	破碎による人工超臨界地熱システム造成	石橋 琢也	再生可能エネルギー研究センター 地熱チーム 研究員
14:30~14:50	超臨界地熱システムのシミュレーション	渡邊 教弘	再生可能エネルギー研究センター 地熱チーム 研究員
14:50~15:10	超臨界地熱システム開発技術	長縄 成実	国立大学法人秋田大学 大学院国際資源学研究所 教授 国際資源学教育研究センター長
15:10~15:15	閉会の挨拶	古谷 博秀	再生可能エネルギー研究センター 研究センター長

※展示ホールにて、出展も行っています。(小間番号:20-010) どうぞお気軽にお立ち寄りください。

超臨界地熱発電のための研究開発

日時 .. 7月11日(木) 13時~15時15分
場所 .. パシフィコ横浜 アネックスホール

F-202

主催 .. 産総研 福島再生可能エネルギー研究所